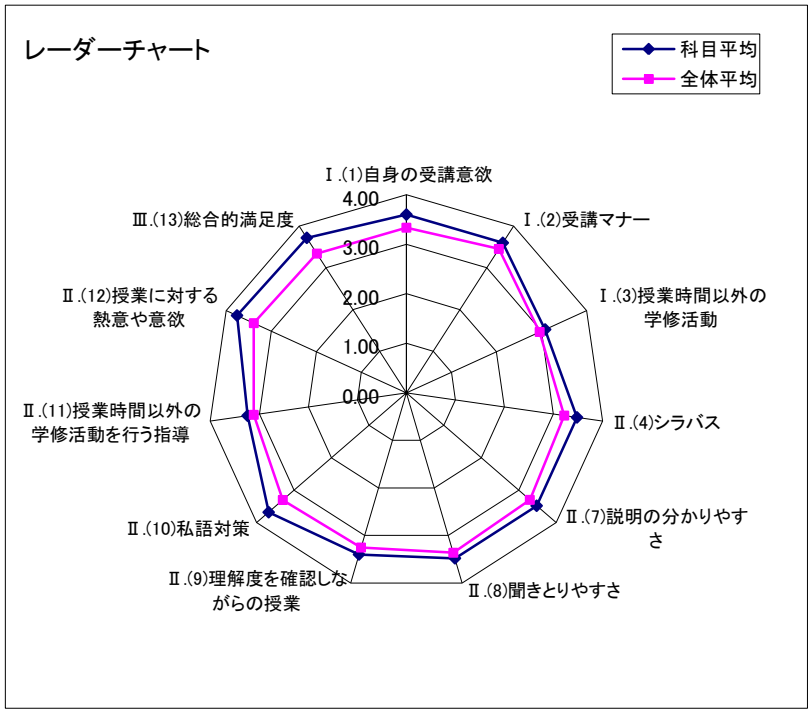
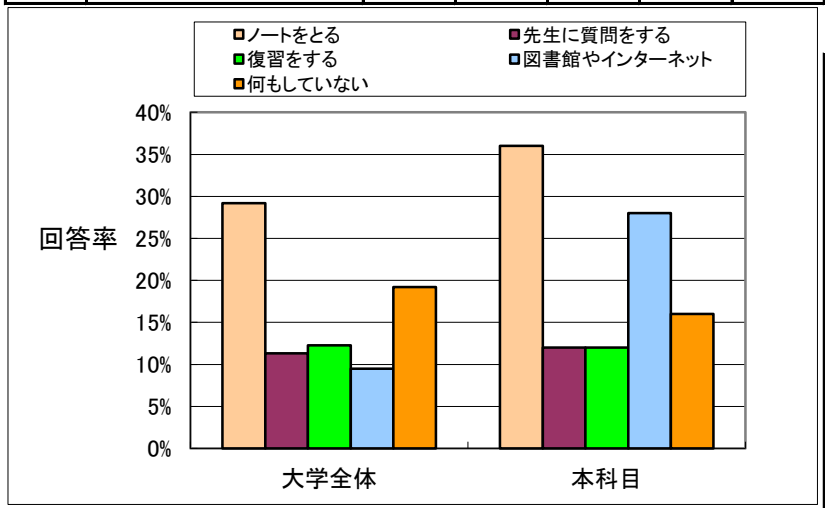
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.60	3.33
	Ⅰ.(2)	3.60	3.45
	Ⅰ.(3)	3.08	2.96
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.48	3.22
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.48	3.30
	Ⅱ.(8)	3.48	3.36
	Ⅱ.(9)	3.40	3.25
	Ⅱ.(10)	3.68	3.30
	Ⅱ.(11)	3.24	3.11
	Ⅱ.(12)	3.76	3.39
総合評価	Ⅲ.(13)	3.72	3.34

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

<※複数選択可項目>		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(14)	授業を理解するための工夫	36.0%	12.0%	12.0%	28.0%	16.0%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.43	3.25
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(12)	3.50	3.28
総合評価 Ⅲ.(13)	3.72	3.34

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度　後期
時間割番号	4463
科目名	コンテンツ構成論／映像作品論
教員名	

①授業計画の達成度について

必ずしも正解を求めるものでなく、理解しどこまで身に付けるかを目標とするだけに数値的な判断が難しい科目でもある。果たして、関心を深め多方面に応用も利く力を養ってもらえたかどうか、どこかで活かされることを願う。

②授業の進め方について

多様な映像作品を、なぜこれを見せたのか、その理由や意味を添えながら説明することが多く(どこまで理解したかは別に)、その点において学生は関心を持てたのかもしれない。ただ、映像作品の1部分だけを見るのは本来の作品価値とは別であるので、そのジレンマは授業時間の制限がある中では悩ましい。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

多くの事例(映像)を見せたく、時間の制限がある中、つい一方的になることもあるが、出来る限りその映像に対する学生との対話に心掛けたい。

奈良産業大学